



表彰式後に記念撮影。一斉に競技が始まり、一斉に終わるロゲイニング競技だからこそのパフォーマンス。

2013年3月30日(土) 長野県松本市
松本ロゲイニング 2013

家族

- 1 じゃんきんじゃんきん 1112
(一本木薫/一本木楓/一本木雅秀)
- 2 ハムちゃん 1109
(宮崎崇徳/宮崎寿美子/宮崎愛海)
- 3 SKSK 932
(北野 聡/佐江子/溪介/心春)

混合

- 1 Ust やまちゃん Z 1436
(大谷拓哉/海沼 博/久世悦子)
- 2 Team-S53 1422
(内山千尋 / 長崎ひとみ)
- 3 Ust やまちゃん A 1395
(田中裕二 / 西田由香里)

女子

- 1 いぐいぐ 1236
(福井莉子 / 名塚晴香)
- 2 Team 新村 910
(新村知世 / 上條莉佳)
- 3 ホンマカイナ B 712
(小宮聖子/布山陽子/曾根原真澄)

男子

- 1 MS 大阪 1748
(瀧川英雄 / 奥村理也)
- 2 やまへい 1469
(新井悠功 / 山本遼平)
- 3 STM チーム A 1420
(荒井英一/日語多香信/松野哲也)

森の中を突き進んで次から次へとコントロールを撃破する快感ったら・・ないね

ナビゲーションの楽しさ

「森の中を突き進んで、次から次へとコントロールを撃破する快感ったら・・ないね。」

これは今回初めて 0-map を持ってロゲイニングに参加したかたが Twitter で呟いた言葉だ。もちろんこのかたは全くの素人ではなく、山登りやトレイルランを楽しむ人だ。こうした皆さんにナビゲーションの楽しさを松本ロゲイニング 2013 で届けることができたような気がする。

0-map の能力の高さ

オリエンテーリングもロゲイニングも地図を使ったスポーツ。ただしロゲイニングは競技時間が長いことから 0-map の範囲では収まらず、国土地理院発行の地図を基に作られた地図を使用することが多い。

しかしながら松本ロゲイニング 2013 では、全日本リレー大会やインカレロゲイニングで使用した地図をつなぎ合わせ、

拡張調査を行って広大な面積の 0-map を使用した。これは 0-map を多くの人に体験していただくよい機会となった。



国宝「松本城」にかかる「埋橋(うすはし)」。ここも今回のコントロールのひとつ。この前で写真を撮ってくることで得点が与えられる。

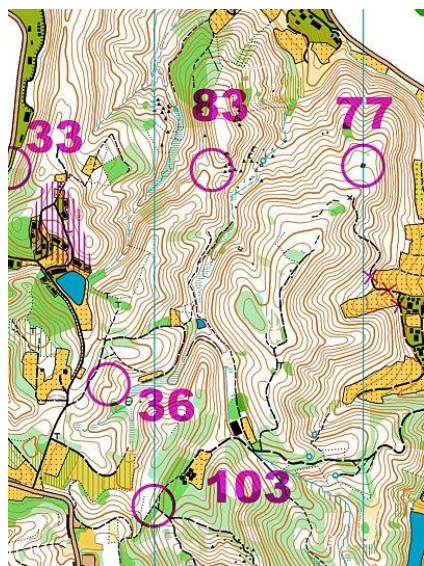
街と山のコンビネーション

松本ロゲイニング 2013 の競技時間は 3 時間。競技範囲は松本繁華街から松本城、りんご畑やため池の広がる丘陵地、インカレで使用した山岳の森が入っている。使用したコントロール位置も、松本城、飲み屋の看板、道祖神、水道施設、遊歩道の道標、そして道の無い森の中の鞍部。参加者は力量や配点に応じてこれらのコントロールを選んで巡ってゆく。

多くの参加者は比較的到達しやすい

道沿いのコントロールを回ってくるが、中にはチャンレンジ精神を発揮して森の中に置かれたフラッグ目指して直進する参加者もいくつか見られた。3月末のこの季節の松本は通行可能度が高く、快適に直進できるのだ。

なお、森の中のコントロールが特に高い配点になっているわけではない。森の中に突っ込む人は自主的に森を選んでいるのだ。



松本ロゲイニング2013の地図(一部)
森の中にだって普通のようにコントロールが置かれている。



森の中にはフラッグが置かれている。このフラッグに書かれている番号を撮影することで得点が得られる。今回設定した30個のコントロールの中でフラッグを使用した箇所は3箇所

オリエンティアの能力の高さ

松本ロゲイニングでダントツの最高得点を叩きだしてくれたのは、「大阪MS」チーム。全日本リレー大会では大阪府のMSチームとして活躍している瀧川氏と奥村氏であった。さすがに0-mapを使ったロゲイニングではオリエンティアは高い能力を示してくれる。

次に高い能力を示したのが、地元で山登り、トレイルランニング、フルマラソンを楽しんでいるチームである。

このように上位競技者にも充分満足できるレースを提供しつつも、本当に

松本ロゲイニング2013が重視しているのはすべての参加者である。

結果はともかく、地図を持って松本の里山や市街地を巡れば、地元の人知らない風景が見えてくる。そんな中で体と頭を使えば、それはきっと楽しい体験になるだろう。それだけの素材をこの街は見せてくれる。



最高得点を叩きだしたMS大阪チーム
(瀧川氏と奥村氏)

松本夜ゲ飲ニング

木村個人の思いつきで、競技のあとに交流会開催を呼びかけた。「目印として今日の地図を持参してください。」延べ13名が松本駅前に再集結。地図を片手に再び松本の街に夜ゲ飲ニングに繰り出した。

参加者の中に本日の最高得点者の瀧川氏が加わったことで、話は競技中の作戦や戦略で盛り上がる。

松本を拠点にユーストリーム放送局「やまちゃん」を運営するスタッフ、松本市役所勤務で地域振興を考える人、ロゲイニングの鉄人・岡部夫妻らも加わり、さまざまな情報交換が行われた。

ロゲイニングの特徴は、アウトドアスポーツのいろんな分野の人が集まることだ。ここで交流会を開けば、とても刺激的な交流会になるだろうと思っていたが、まさにその通りとなった。トレイルランニングを主として活動し

ている人たちにとっても、アウトドアの先人たるオリエンタリングの話はとても刺激的だったようだ。



松本夜ゲ飲ニング。ロゲイニングより競技時間が長かった・・・



レースを振り返り戦略を説明する瀧川氏

伸びるロゲイニング

交流会の中で「オレの地域でもロゲイニングやりてえ！」という声も出てきた。どうやら次回の松本ロゲイニングはこの方の住む地域でやることになりそうだ。

オリエンタリングに無くて、ロゲイニングにあるもの。それは地域の方を開催へと突き動かすほどの魅力発信力だ。

(木村佳司)



いくぞ！おお！北アルプスを望む高台から一斉スタート。